

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	小城市立岩松小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、体験活動等を含んだ教育活動を実施するにより、地域人材の活用や郷土愛を育むことができた。また、勤務時間においては、成績2学期制の導入や行事内容・校時表の見直し等を行うことで短縮を図ることができた。一方、体づくりや心の教育、職員の時間外勤務削減等には課題が残るなど、課題改善に向けた新たな取り組みを模索する必要がある。 ・本校の特色でもある複数担任制は、個に応じた教育を行う上では有効であり、今後も継続していきたい。 ・規則正しい生活習慣については改善が図られているが、家庭学習の習慣化については課題が見られるため、より丁寧な情報発信を行いながら家庭と課題を共有し、家庭を巻き込む取組が必要である。
2 学校教育目標	一人一人が輝く岩松っ子の育成 ～高め合い 支え合い 磨き合い～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①校内研を中心に、分かる授業づくりに努め、指導方法の工夫改善や基礎・基本の定着を図ることで学力向上を推進する。 ②特別支援教育の視点を取り入れた児童理解に全職員が努め、複数担任制による個に応じた組織的な指導体制の機能を高める。 ③規則正しい生活習慣の確立や家庭学習の習慣化など、家庭と連携した取組を継続・発展する。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師100%を目指す。	・校内研修等でマイプランについての取組をお互いに報告するとともに、随時取組の修正を図る。							【学習指導部】 ・学力向上コーディネーター
	○基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力を高める授業の実践	○児童アンケートで「問題文とときに、数字やだいたいな言葉にしろしをつけたら、式の意味を問や数直線をつかって、とどちにつたえることができる」と答える児童を80%以上にする。	・特に算数科の授業において、数やキーワードにしろしをつけたら、式の意味を問や数直線をつかって、とどちにつたえらして問題文を解かせる。							【学習指導部】 ・学力向上コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童アンケートで「楽しく(意欲的に)学校生活を送っている」と回答する児童を92%以上にする。 ○自問清掃をがんばっていると感じる児童を95%以上にする。	・人権教室で、それぞれの学年に応じた話やエンカウンターを全職員で行い、児童一人一人を大切に、自己肯定感を高める。 ・自問清掃の取組を通して、自律、自主や思いやりの心を育てる。							【生徒指導部】 ・道徳教育担当 ・人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○児童アンケートで、「いじめをなくす宣言」を守っていると回答する児童を90%以上にする。 ○保護者アンケートで、「いじめ防止の取組の成果が出ていると思うか」の問いに対し、肯定的な評価を90%以上にする。	・「〇月の心」「Q-Uテスト」教育相談週間において、一人一人の実態を把握し、必要な対応を行う。 ・1月1日の生徒指導会、教育相談会で、児童の様子を把握し、共通理解する。							【生徒指導主任】 ・生徒指導主任 ・教育相談担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童生徒を80%以上にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒を80%以上にする。	・「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童生徒を80%以上にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒を80%以上にする。	・がまん日記や帰りの会など機会を見つけては児童のよいところを認める機会を設ける。 ・総合的な学習・生活科・社会科・道徳などで自分の成長を振り返ったり、これから自分の夢をもつたりできるような活動を行う。(自分の成長を振り返る。職業に夢を持つなど)						
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○睡眠時間の確保(就寝目安時間に寝た児童を68%以上にする) ○朝食喫食率及び食事内容の質の向上(朝食喫食率95%以上にする) ○「健康に良い食事をしている児童生徒」100%(現状維持)を目指す。	・年に2回の「健康アンケート」の実施。メディアの閲覧時間の項目を増やし、実態を把握し、睡眠等との関係について指導する。 ・望ましい生活習慣や食育に関する指導を学活や教科等で推進する。 ・家庭における生活習慣のチェックを実施し、集計結果を「保健部だより」で知らせる。また、給食試食会を行い、朝食の重要性について家庭へ啓発する。							【保健体育部】 ・食育担当 ・保健主事
	○運動習慣の改善や定着化	○運動習慣の定着を目指す。外遊びの割合、60%、冬60%以上にする。 ○スポーツチャレンジの参加率100%を目指す。	・外遊びで使用する道具を使いやすいように準備する。 ・スポーツチャレンジへの参加を呼びかけるとともに、昼休み等の時間を利用して、全校児童参加型のイベントを企画する。また、動画などにより、ルールやコツを浸透させる。							【保健体育部】 ・体育主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○時間外在校等時間を昨年度より5%削減する。	・定時退勤日の徹底を図る。 ・学校行事や企画の精選と校務用サーバーの整理・見える化による業務の効率化を図る。							・管理職
	○教職員の連携の充実	○「教職員の連携」について、教職員の肯定的評価を90%以上にする。	・低・中・高学年内での報告・連絡・相談を密にし、グループとしての機能を高める。 ・四部会の部長を中心に、計画的に業務を進めるとともに、職員間のフォロー体制を強化する。							・管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○特別支援教育体制の強化と充実	○困り感を持つ児童の共通理解を図り、全職員によるよりよい支援体制づくりをめざす。 ○対象児童の個別の教育支援計画・指導計画の作成率を100%にする。	・校内教育支援委員会を通して、対象児童への支援体制を考え、全職員への周知を図る。また、校内研修を通して、特別支援教育への理解と支援の充実を図る。 ・前年度の引き継ぎをもとに、個別の教育支援計画等を作成するとともに、それを活用しながら適切な支援を行う。							
○ふるさと学習の充実	○ふるさとへの誇りを持ち、志を高める教育活動の推進	○児童アンケートで「ふるさとへの愛着を持っている」と回答する児童の割合を95%以上にする。	・総合的な学習・生活科において、地域の教育資源や人材等を活用した体験活動や校内散策、調べ学習等を行う。 ・5、6年生対象に「岩松検定」を実施する。							・教務主任 ・総合的な学習主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--